

『トロボの眼』古代史講座

講演&対談

「漢楽浪郡と弥生時代の倭」

日時: 2019年5月26日(日) 13:30~16:45

会場: イケビズ(としま産業振興プラザ)(東京都豊島区西池袋2-37-4)

交通: 池袋駅西口下車徒歩約10分・南口より約7分

資料代: 講演会会員2,000円(事前払い) 一般会員2,500円(事前払い)

※『トロボの眼』講演会会員、新規会員募集中です(お問合わせ下さい)

講師: 高久健二先生(専修大学教授)

講師: 松木武彦先生(国立歴史民俗博物館教授)

●主旨:

弥生時代の倭の国のことが初めて中国の歴史書に登場するのは『漢書』地理志において、「楽浪の海中に倭人あり、分かれて百余国を為す」と見える。楽浪郡は紀元前108年に朝鮮半島西北部に設置され、東夷世界における漢の出先機関の役割をはたした。一方、朝鮮半島南部の三韓や日本列島の倭から見ると、漢の先進文化を取り入れる窓口でもあった。楽浪郡の設置という東アジアの国際環境の変化という大きな枠の中で、弥生人の社会や生活がどのようなものであったか、最近、めざましい発掘調査の成果を上げ注目されている出雲・伯耆・丹後(島根・鳥取・京都)や吉備(岡山)などの弥生文化に光を当て、北東アジアの古代史を見直すべく白熱する討論がかわされることが期待される。

講演1 「漢の楽浪郡と倭」13:30~14:30

講師: 高久健二先生(専修大学教授)

講演2 「弥生時代の倭の国々」14:40~15:40

講師: 松木武彦先生(国立歴史民俗博物館教授)

対談 「弥生時代の倭と東アジアの交流」15:50~16:50

講師: 高久健二先生・松木武彦先生

連続講座

全回参加が望まれますが、ご希望回を選択することもできます。

1月開講 小倉慈司先生・連続2回講座

「古代東アジア文字文化の伝流—朝鮮半島と日本列島」

●講師: 小倉慈司先生(国立歴史民俗博物館准教授)

●資料代: 各回2,500円(事前払い) 当日払い2,800円
(実施1週間以内申し込みは当日払い扱いとなります。事前予約要)

●主旨:

漢字は中国で生まれた文字文化ですが、日本への伝来ということを考えた場合には、朝鮮半島との関わりを考えないわけにはいきません。そしてそれは必ずしも一方方向のものではありませんでした。この講座では、朝鮮半島を経て日本列島に漢字文化が伝来してから、平安文化が花開くまでの時期を取り上げて文字をめぐる交流を紹介していきます。

第1回 「文字の伝来、仏教の伝来」

日時: 2019年1月12日(土) 13:30~15:30(開場13:00)

会場: 渋谷区立勤労福祉会館(東京都渋谷区神南1-19-8)

交通: JR渋谷駅または東京メトロ、副都心線渋谷駅から徒歩8分

第2回 「新羅・高麗と日本の文字文化」

日時: 2019年2月9日(土) 10:00~12:00(開場09:45)

会場: 品川区立中小企業センター(裏面参照)

1月開講 高久健二先生・連続5回講座

日韓における農耕社会の成立と金属器の出現—弥生時代の対外交流1—

●講師: 高久健二先生(専修大学教授)

●資料代: 各回2,500円(事前払い)
1週間前~当日申し込み各回2,800円(会場徴収)

●主旨: 日本列島の弥生時代は稲作農耕文化の定着や金属器の出現などに特徴づけられ、社会構造が大きく変化していく時代です。弥生時代に現れた新たな文化要素の多くは、朝鮮半島との交流を通じてもたらされたものです。この講座では、日本・韓国・朝鮮における考古学的成果をもとに、日本列島と朝鮮半島における農耕社会の成立と金属器の出現について考えてみようと思います。

第1回 「東アジアにおける農耕社会の成立と青銅器文化」

—朝鮮半島における青銅器時代の文化—

日時: 2019年1月19日(土) 10:00~12:00

会場: 品川区立中小企業センター(裏面参照)

第2回 「東アジアの支石墓文化」

—朝鮮半島における青銅器時代の墓制—

日時: 2019年2月24日(日) 10:00~12:00

会場: 品川区立中小企業センター(裏面参照)

第3回 「日本列島における稲作農耕社会の成立」

—弥生時代のはじまりと対外交流—

日時: 2019年3月3日(土) 10:00~12:00(開場09:45)

会場: 未定(都内区立施設利用予定。2~1ヶ月前に発表します)

第4回 「朝鮮半島における細形銅剣文化の成立と鉄器の出現」

—朝鮮半島の初期鉄器文化—

日時: 2019年4月6日(日) 14:00~16:00

会場: 未定(都内区立施設利用予定。2~1ヶ月前に発表します)

第5回 「日本列島における青銅器の出現と普及」

—弥生時代前期~中期前半の対外交流—

日時: 2019年5月11日(土) 14:00~16:00

会場: 未定(都内区立施設利用予定。2~1ヶ月前に発表します)

※第4回・第5回、月1回土曜日(14:00~16:00)を予定。

日時決定次第発表します。

1月開講 松木武彦先生連続3回講座

「弥生時代の歴史」

講師: 松木武彦先生(国立歴史民俗博物館教授)

資料代: 各回2,500円(事前払い)
1週間前~当日申し込み各回2,800円(会場徴収)

●主旨: ムラからクニへ、と漠然と考えられてきた弥生時代の社会統合の過程を、最新の発見資料や研究成果を用いて、具体的に復元します。

第1回 日時: 2019年1月17日(木) 13:00~15:00(開場12:45)

会場: 品川区立中小企業センター(裏面参照)

第2回 日時: 2019年1月31日(木) 13:00~15:00(開場12:45)

会場: 品川区立中小企業センター(裏面参照)

第3回 日時: 2019年2月14日(木) 13:00~15:00(開場12:45)

会場: 品川区立中小企業センター(裏面参照)

2月
開講

稲田奈津子先生連続2回講座 「金石文と遺跡からみる 古代の日本と朝鮮」

- 講師:稲田奈津子先生(東京大学史料編纂所助教)
- 資料代:各回2,500円(事前払い) 当日払い2,800円
(実施1週間以内申し込みは当日払い扱いとなります。事前予約要)
- 主旨:古代日本の文化形成において、中国大陸とともに忘れてはならないのが、朝鮮半島の存在です。ところが、文献史料の豊富な中国に比べ、古代の朝鮮については残された文献史料が限定的であるため、考古学の分野ではさかんな日本と朝鮮とを相互に参照する研究が、文献史学の分野では十分になされてこなかったと言えます。そこで本講座では、発見された金石文資料に注目したり、遺跡の評価について文献資料をもとに再検討することで、文献史学の立場からの新たな視点を示してみたいと思います。

第1回

「行基と日韓古代金石文」

日時: 2019年2月17日(日) 13:30~15:30(開場13:00)

会場:未定(都内区立施設利用予定。2~1ヶ月前に決定)
奈良時代の僧侶である行基は、東大寺大仏の造営に協力したり、溜池や橋を作るなどの公共工事を主導したことで有名です。こうした活動は、たとえば「重源狭山池改修碑」などでも知られますが、朝鮮半島の新羅でも似たような事業が行われていたことがわかる石碑が発見されています。本講座では、日韓の各種金石文や典籍史料をとりあげ、その関係性を具体的にみていきます。史料から読み解く面白さを味わっていただければ幸いです。

第2回

百済武寧王の誌石と殯

日時: 2019年3月10日(日) 13:30~15:30(開場13:00)

会場:未定(都内区立施設利用予定。2~1ヶ月前に決定)
1971年、韓国で偶然発見された未盗掘墓が、出土した墓誌から6世紀の百済王である武寧王とその王妃の王陵であることが判明し、大きな話題となりました。その武寧王陵の付近に所在する艇止山遺跡は、武寧王と王妃の殯(ヒン、もがり)が行われた場所とされています。本講座では、艇止山遺跡の性格や墓誌の解釈をめくり、日韓の研究状況をふまえた新たな見解をお示ししたいと思います。日韓の考古学・古代史研究のつながりを実感していただけたらと思います。

2月
開講

右島和夫先生連続6回講座 「東国の古墳を掘る」

- 講師:右島和夫先生(群馬県立歴史博物館館長)
- 資料代:全6回14,500円(500円割引・事前払い) 各回2,500円(事前払い)
1週間前~当日申し込み:各回2,800円(会場徴収)
- 主旨:
「私が、これまで深く関わった群馬の著名な古墳を取り上げ、具体的な調査の過程から成果をたどり、古墳の特徴・意義をあきらかにしたい。詳しくみていくことにより、古墳研究の基礎、古墳時代東国の地域性、歴史性に肉薄したいと思っています」(右島和夫)

第1回 「前橋天神山古墳を掘る」

日時: 2019年2月25日(月) 13:30~15:30(開場13:00)

会場:品川区立中小企業センター
・東日本を代表する前期前方後円墳(4世紀初め)

第2回 「太田市鶴山古墳を掘る」

日時: 2019年3月18日(月) 13:30~15:30(開場13:00)

会場:未定(都内公共施設利用予定。2~1ヶ月前に決定します)
・大量の甲冑類・鉄製武器・工具類・滑石製模造品当を出土
(5世紀第2四半期~中葉)

第3回

「初期古墳群を掘る」

日時: 2019年4月8日(月) 13:30~15:30(開場13:00)

会場:未定(都内公共施設利用予定。2~1ヶ月前に決定します)
・初期群集墳(5世紀後半)

第4回

「昭和村岩下清水1・2号墳を掘る」

日時: 2019年5月13日(月) 13:30~15:30(開場13:00)

会場:未定(都内公共施設利用予定。2~1ヶ月前に決定します)
・渡来人の積石塚方墳(6世紀前半)

第5回

「築瀬二子塚古墳・応山古墳・前二子古墳を掘る」

日時: 2019年6月3日(月) 13:30~15:30(開場13:00)

会場:未定(都内公共施設利用予定。2~1ヶ月前に決定します)
・関東地方で最初に登場する横穴式石室の前方後円墳

第6回

「高崎市神保下條2号墳を掘る」

日時: 2019年7月1日(月) 13:30~15:30(開場13:00)

会場:未定(都内公共施設利用予定。2~1ヶ月前に決定します)
・充実した埴輪出土の小型円墳、同時期の東国の埴輪出土古墳との比較検討(6世紀後半)

継続中講座

連続講座 東京教室

12月
開講

河内春人先生・連続3回講座 「倭の五王の外交と東アジア —中国史書から読み解く—」

- 講師:河内春人先生(関東学院大学准教授)
- 資料代:各回2,500円(事前払い) 当日払い2,800円
(実施1週間以内申し込みは当日払い扱いとなります。事前予約要)

第1回 「倭の五王の登場」終了

第2回 「倭の五王と東アジア」

・倭の五王の時代の国際関係を見渡し、倭国の外交政策について考えます。
日時: 2019年1月26日(土) 10:00~12:00(開場09:45)
会場:品川区立中小企業センター(都内区立施設利用予定。11月1日抽選)
交通:東急大井町線下神明駅徒歩2分
(JR大井町駅・りんかい線大井町駅乗換え各停1駅または溝口乗換えて逆方向から)

第3回 「倭王武の上表文」

・外交文書としての上表文を分析し、倭王武の時代の外交について考えます。
日時: 2019年2月23日(土) 10:00~12:00(開場09:45)
会場:未定(都内区立施設利用予定。2~1ヶ月前に発表します)

連続講座 横浜教室開講記念

12月
開講

仁藤敦史先生連続5回講座 「変革期の王権と外交 —継体・欽明朝を考える—」

- 講師:仁藤敦史先生(国立歴史民俗博物館教授)
- 資料代:全5回12,000円(500円割引事前払い) 各回2,500円(事前払い)
1週間前~前日申し込み各回2,800円(会場徴収)

第1回 「継体天皇の即位」終了

第2回 「欽明朝の王権1-国造制-」

日時: 2019年1月6日(日) 10:00~12:00(開場:09:45)
会場:かながわ県民センター 15階1503号室(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)
交通: JR・私鉄「横浜駅」西口または北西口を出て徒歩3~5分
横浜市営地下鉄「横浜駅」地下鉄出口8から徒歩2分

第3回 「欽明朝の王権2-ミヤケ制-」

日時: 2019年2月10日(日) 09:00~11:00(開場:08:45)
会場:かながわ県民センター 15階1502号室

第4回 「欽明朝の王権3-部民制-」

日時: 2019年3月21日(木・祝) 10:00~12:00(開場:09:45)
会場:かながわ県民センター 15階1501号室

第5回 「朝鮮半島との外交-任那日本府の虚と実」

日時: 2019年4月7日(日) 13:00~15:00(開場:12:30)
会場:未定(横浜市内区立施設利用予定。2~1カ月前に発表します)

●利用会場

会場は都内区立施設(抽選制)を利用します。メイン会場は2ヶ月前に結果が判明する品川区立中小企業センター(品川区西品川1-28-3、交通:東急大井町線「下神明駅」徒歩2分 JR・東急線・りんかい線「大井町駅」徒歩10分)などです。未定会場は決定次第、ご連絡いたします。

●申込み方法

メール、HPまたは往復ハガキに ①講座名②受講希望回③住所④氏名⑤電話番号・メールアドレスを明記 して下記宛にお申込ください。

〒234-0051 横浜市港南区日野8-16-3-104『トンボの眼』講演係 佐々木 章

メール tonbo_sasaki@ybb.ne.jp HP http://tonbponome.net/ FAX:045-846-9781 TEL:090-1706-6024(問い合わせ専用)